

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	なぎそサークル発表会で南木曾町を元気に！
事業主体 (連絡先)	NPO法人なぎそチャレンジクラブ (0264-57-3001)
事業区分	地域協働の推進に関する事業／教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,982,880円 (うち支援金: 2,406,000円)

事業内容

南木曾町で活動している文化的サークルの発表会を計画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、昨年のように観客を入れて発表会を開催することができなくなったため、出演団体、出演者を個別に収録し、編集した上で木曾郡内のケーブルテレビ番組で放送することになった。

昨年の発表会の反省として「ステージが低くて小さい、動いて危ない」などの問題があったが、それらを解決するために元気づくり支援金を活用し、簡単に組み立てられる「かんたんアルミステージ」を購入。また、収録にかかる費用の一部についても支援金を活用した。

事業効果

新型コロナウイルス感染症拡大による春先の緊急事態宣言に伴う文化活動休止期間を経て、普通の生活やいつもの活動をすることができないもどかしさや、内向きになりがちな気持ちに、文化的サークルの活動は、日々の生活にちょっとした楽しみや潤いを与えてくれた。

コロナ禍で行う発表会の開催は、①人と会うことが精神的な支えとなり、生活の質を保つ役割を果たし、②感染症予防をしながら練習に励むことが健康を維持するモチベーションにつながり、③コロナ禍においても文化活動を止めない事が文化活動の振興につながった。

発表会を開催するために購入したアルミステージは設置も簡単で、ステージ面が広く、密にならず、安全に、演目を発表することができた。また、無観客で行うことで、昨年は準備と片付けに時間を要するために出演を辞退した団体が複数出演できた。

また、ケーブルテレビ番組で放送したことにより、広くいろいろな世代の方に文化的サークルの活動を見て、知ってもらえる貴重な機会となった。

収録二日前に町内で感染者が出たが、感染予防を強化し、保育園児から80才台までの10団体123人が出演することができた。

今後の取り組み

コロナ禍において、文化的サークル活動が生活の質を上げたり、健康維持に努めたりすることにつながっていることを痛感した。「今できる最大限のことを」という目標を掲げて開催したなぎそサークル発表会は、多くの出演団体、出演者、テレビ放送を見た人から好意的な評価をいただくことができ、開催形態は未定ながら来年度以降も出演者が安心して出演できる発表会を継続して開催していきたい。



【なぎそサークル発表収録風景】

【目標・ねらい】

さまざまな年代が一同に会し文化的サークルの発表会を安全に開催することで、①生活の質を確保し、②健康維持のモチベーションアップを図り、③文化活動の振興に繋げる。

※自己評価【 B 】

【理由】

当初考えていたような事業内容ではなくなり、手探りで準備を進めることになったが、昨年行った発表会の課題を概ね解決した上で開催することができた。

コロナ禍において開催することに対し、出演団体・出演者から賛同を得られたことで、予定していた効果は得られた。